

# デジタルパソロジー診断のスムーズスタート

## Small start of digital pathology diagnosis



福岡順也

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 情報病理学

Junya Fukuoka

Department of Pathology Informatics, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences

デジタルパソロジーの導入が必要と思うが、どのようにすすめれば良いかわからない。あるいは、巨額なシステムを一気に導入するのではなく、ステップワイズに少しずつ導入に向かっていきたいが、どうすれば良いのかという質問を多く受けます。日本におけるデジタルパソロジーの拡散は欧米やアジア各国から大きく水をあけられており、現在日本はデジタル後進国という立場を余儀なくされています。これにより今後やってくる人工知能の導入などデジタル化による医療の進歩に立ち遅れる可能性が出てきました。このセッションでは、そういった状況にならない為にまず小さくデジタル化を始めるにはどのような方法が有るかについて実際の導入例を加えて紹介します。